

会長通信～活動報告～

半田市シルバー人材センター会長の活動状況を「会長通信～活動報告～」として会員のみなさまに向け、不定期ですが報告させていただきます。

① 愛知県シルバー人材センター連合会

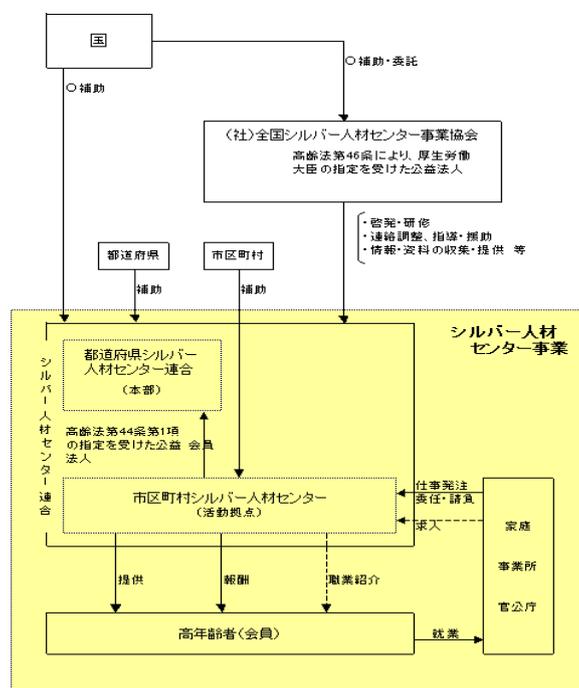
令和6年度定時総会参加報告

【令和6年6月18日（火）13:30～】

【於：ウインクあいち】



▶愛知県内の市町村シルバー人材センターを包括する組織が愛知県シルバー人材センター連合会で、現在は愛知県内の57センターで構成されている。



【定時総会次第】

1 開会のことば 2 会長挨拶 3 来賓挨拶 4 議長選出 5 議事 I 議案 第1号議案「令和5年度事業報告について」 第2号議案「令和5年度決算について」 第3号議案「理事2名の選任について」 第4号議案「監事2名の選任について」 II 報告 第1号報告「令和6年度事業計画について」 第2号報告「令和6年度収支予算について」 第3号報告「令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて」

3 来賓祝辞（ポイント報告）

●厚生労働省愛知労働局長阿部充氏（職業対策課長神谷氏代読）

愛知県においてはコロナ禍以前の求人倍率に戻りつつあり、センター会員には、生きがいとしての社会参加や介護人材確保に期待し地域の活性化に尽力をお願いしたい。

●大村愛知県知事（就業推進監森氏代読）

令和5年度の65歳以上の就業者数が50万人以上となり高齢者雇用には力を入れてきている、そのためシルバー人材センターの役割は高まっている。今後も運営を支援する。

→次ページへ

会長通信～活動報告～

第1号議案 令和5年度事業報告について（ポイント報告）

- 会員数がコロナ禍前の令和元年度を上回った。特に女性会員は順調に伸び前年度比200人を超える会員増となった。
- 「請負・委任事業」の契約金額は、令和元年度時には及ばなかったものの「派遣事業」については、受注件数・就業延人数とも前年度を上回った。
- 安全就業については、各センターが事故対策に取り組み、引き続き死亡事故はゼロであった。

→第2号議案～第4号議案は特に報告案件なし

第1号報告 令和6年度事業計画について（ポイント報告）

- 定年後も引き続き就労できる環境整備が進み65歳以上の高齢者の就業者数が増えシルバー人材センター入会年齢や平均年齢が上昇を続けている現況にあることに注視していく。
- 全国シルバー人材センター事業協会によるとコロナ禍の影響のあった令和2年度以降会員は減少を続けているが、愛知県内のセンター会員は令和3年度以降前年度を上回っている。会員拡大については引き続き取り組んでいく。
- 国委託予算の大幅な増加を見込めず限られた財源の有効活用による事業計画を進めていく。
- 安全対策の側面からは、熱中症、損害賠償事故対策推進の必要性とフリーランス法に伴う新たな契約方法対応のデジタル化が必要になっている。

→第2号報告～第5号報告は特に報告案件なし

【参考】令和の会員数の推移

年度	全国				愛知県				半田市						
	全体		(女性/%)		全体		(女性/%)		全体		(女性/%)				
1	715,558	—	241,620	—	33.77	35,391	—	12,499	—	35.32	483	—	135	—	27.95
2	698,419	▼	236,240	▼	33.82	34,583	▼	12,192	▼	35.25	491	△	139	△	28.31
3	686,651	▼	233,577	▼	34.02	34,739	△	12,371	△	35.61	499	△	141	△	28.26
4	681,739	▼	234,721	△	34.43	35,000	△	12,552	△	35.86	538	△	155	△	28.81
5	676,756	▼	236,281	△	34.91	35,409	△	12,798	△	36.14	555	△	155	△	27.93

※全国シルバー人材センター事業協会・愛知県シルバー人材センター連合会・半田市シルバー人材センターの統計資料を加工

【定時総会を終えて】

1. 全国に比べ愛知県・半田市については、会員が少しずつではあるが増えている。女性比率も増えているため、多様な働き方ができる新規就労先の開拓を推進していく必要があることを実感した。
2. 会員が安全・安心に就労をするための安全講習会・技能研修会・健康講習会などはさらに充実させていく必要があると思われた。
3. 会員への情報提供等や事務局業務運営をスムーズに実行させるためデジタル化のさらなる推進を検討をしていく必要があると感じた。
4. 魅力あるセンターづくりのために会員向けの就労以外の事業展開も検討する必要があると思われた。